

☆道路行政セミナー10月号 NO.001

☆☆ポイント☆☆

i) 特集記事 (国土計画局)

.....

◆◆◆国土形成計画の意義とその概要◆◆◆

- 本年7月4日、新たな国土づくりの指針として、国土形成計画の全国計画が閣議決定された。
- 全国計画においては、「多様な広域ブロックが自立的に発展する国土を構築するとともに、美しく、暮らしやすい国土の形成を図る」ことを基本方針とし、戦略的目標として、①東アジアとの円滑な交流・連携、②持続可能な地域の形成、③災害に強いしなやかな国土の形成、④美しい国土の管理と継承、⑤新たな公を基軸とする地域づくり』を掲げている。
- 今後地方公共団体、経済団体、国の地方支分部局からなる広域地方計画協議会における協議を経て、地域の実情に即した即地的・具体的な内容を盛り込んだ広域地方計画の策定作業を本格化していくこととしている。

ii) 道路法令 Q&A (道路局路政課)

.....

◆高速自動車国道法第26条第1項(及び道路法第99条)の解釈について◆

高速自動車国道へのコンクリート投下行為。今号では、このような態様の行為に関わる高速自動車国道法第26条(及び道路法99条)について、解説を行い、また、同態様の行為が処罰の対象になりうるかを論じる。

iii) 訴訟事例紹介 (道路局交通管理課)

.....

◇◆自動車横断歩道橋から垂れ下がっていた配管に接触した事故について道路管理瑕疵が争われた事例◆◇ <平成20年5月12日 東京地裁判決>

[事案の概要]

横断歩道橋から垂れ下がっていた照明配管等が自動車に衝突したとして、道路管理者に対し自動車修理代金の賠償を請求。

[判決要旨（請求棄却）]

- ・ 本件配管は原告車両が横断歩道橋の下を通行する直前に垂れ下がってきたものと認められる。
- ・ 横断歩道橋下の路面との間隔（クリアランス）が不足していたとは認められない。

iv) 地域における道路行政に関する取組み事例

◆◆◆ 広告付き電停上屋の整備について ◆◆◆ （中国地方整備局）

平成20年3月25日付けで道路局長から「地域における公共的な取組に要する費用への充当を目的とする広告物の道路占用の取扱いについて」の通達が出されたことに伴い、広島市において、広告付き電停上屋の整備に取り組むこととなったが、その仕組み及び設置までの取り組みについて紹介する。

◆◆◆ 高知県の道路に関する地域の取組み ◆◆◆ （高知県土木部道路課）

高知県の道路の維持等に関して、地域の方や企業、団体の協力等による

- ・ 桂浜花街道
- ・ 地域委託
- ・ ロードボランティア

の取り組みについて紹介します。

◆◆◆ 「雲の上の町ゆすはら」の道 ◆◆◆ （高知県檮原町）

檮原町では、地域の方が昔から行ってきた道路清掃が、高知県が模索していた官民協働事業の主旨と重なり、県管理の国道県道の維持を受託するようになりました。これにより、今まで以上に小回りのきいた対応がとれ、また作業で得たお金を自治活動の費用に充てるなど、地域の活性化につながっています。

☆編集後記☆

栗・柿が美味しい季節になり、いよいよ、紅葉の行楽シーズンがやってまいりました。行楽スポットであり、最近ではスピリチュアルパワーを授かることができるパワースポットとして話題でもある日光東照宮にまつわるお話をご紹介します。

東照宮は、1617年徳川初代将軍徳川家康公を祀った神社であり、1999年世界遺産に登録された。

東照宮には、日本を代表する最も美しいといわれている「陽明門（ようめいもん）」があり、いつまで見ても見飽きないところから「日暮の門（ひぐらしのもん）」ともよばれ、故事逸話や子供の遊び、聖人賢人など500以上の彫刻がほどこされている。東照宮の造りは、陰陽道の影響を強く受けたといわれており、陽明門とその前の鳥居を中心に結んだ延長上に家康公が祀られている奥宮（おくみや）があり、その上空には北極星が来るように造られ、また、その線を真南に行けば江戸へ着くとされ、さらに主要な建物を線で結ぶと北斗七星の配置と寸分違わぬよう設計されているという。

ところで、東照宮の中でも一番スピリチュアルパワーが集まり、日本一とも言われている場所がある。それは、陽明門と鳥居を結ぶ直線上にあり、その場所から陽明門を望むと鳥居の中にすっぽり収まるように見えるという。

昨年、スピリチュアルパワーを求めて高野山へ出かけたので、その第2弾として、さらなるパワーを求め、今季は日光へ足を伸ばしてみようと思う。

皆様もこの秋、紅葉を楽しみながら、パワースポットにお出かけになるのはいかがでしょうか。(U)